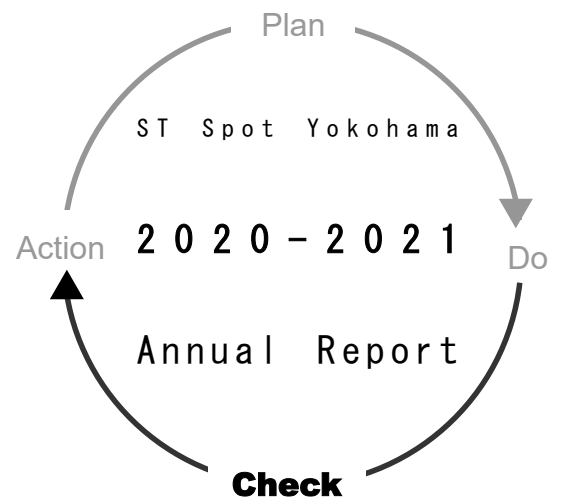




特定非営利活動法人STスポット横浜

令和2年度 事業報告書

令和3年3月31日

ごあいさつ

S T スポット横浜は「アートと市民社会の新しい関係づくりを推進するとともに、アートの持つ力を現代社会に活かし、より豊かな市民社会を創出すること」を目的として活動を行っています。

2020年初頭から始まったコロナ禍により、今年度は事業に大きな影響が出ました。小劇場・S T スポットは事実上の休館に追い込まれ、地域連携事業部を含めてリモートワークを行いながら、業務継続に全力を挙げました。年度の後半以降は、他団体や行政などとこれまで以上に緊密に連絡を取りあい、現在の状況にあった文化芸術のかたちを探り続けました。

厳しい状況は続きますが、引き続き今後とも、みなさま方からの暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人S T スポット横浜

理事長 小川智紀

目 次

施設運営・創造発信事業／創造環境事業部	2
1. S T スポットの施設運営	2
2. 自主事業	3
教育普及・交流促進事業／地域連携事業部	7
1. 教育事業	7
2. 地域事業	10
3. 福祉事業	13
4. その他	15
事務局	16
2020（令和2）年度財務諸表	17

施設運営・創造発信事業／創造環境事業部

1. S T スポットの施設運営

S T スポットは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、過年度と比較して大幅に利用件数は減少したものの、感染症対策を講じながら利用者の安全と使いやすさを重視した施設管理運営と舞台芸術の創造拠点として若手アーティストを中心とした育成やサポートを行う自主公演事業等を行いました。

【表1：S T スポット年間開館状況】

項目	今年度	昨年度	備考
開館日	203 日※	343 日	
稼働日	128 日	250 日	
稼働率	63.1%	72.9%	稼働日÷開館日
プログラム数	34 本	65 本	
利用団体数	19 団体	30 団体	

※スタッフが劇場にて対応していた日数。在宅勤務にて対応していた日数を除く。

【表2：S T スポット年間利用状況】

項目	今年度	昨年度	備考
S T スポット総入場者数	2,963 人※	8,119 人	
利用団体観客数	1,316 人※	4,385 人	
利用団体スタッフ数	267 人	1,238 人	
事業観客数	1055 人※	2,016 人	
事業スタッフ数	325 人	480 人	

※配信視聴数含む。

【表3：S T スポット月別開館状況】

項目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開館日※	3	0	8	16	11	15	23	26	27	26	22	26	203
稼働日	0	0	2	4	5	5	11	18	27	26	18	12	128
稼働率	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	45.5%	33.3%	47.8%	69.2%	100%	100%	81.8%	46.2%	63.1%
一般利用	0	0	0	1	1	1	2	4	1	3	3	2	18
自主事業他	0	0	0	1	0	0	1	2	4	4	2	2	16
プログラム数	0	0	0	2	1	1	3	6	5	7	5	4	34

※横浜市副市長通知により 2020 年 3 月 3 日～5 月 31 日の間、臨時休館。

参考：神奈川県に緊急事態宣言が発令されていた期間は以下の通り。

2020 年 4 月 7 日～5 月 25 日、2021 年 1 月 8 日～3 月 21 日

【表4：STスポット稼働日内訳（種目別）】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般利用	0	0	2	3	5	3	5	2	1	5	5	7	38
自主事業他	0	0	0	1	0	2	6	16	26	21	13	5	90
稼働日	0	0	2	4	5	5	11	18	27	26	18	12	128

【表5：STスポット稼働日内訳（ジャンル別）】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
演劇	0	0	0	0	0	0	3	1	3	19	10	6	42
ダンス	0	0	0	0	0	0	0	0	7	4	6	5	22
音楽	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
稽古	0	0	0	1	0	2	5	12	17	1	0	1	39
撮影	0	0	0	3	4	3	2	2	0	0	0	0	14
講座・WS	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
その他	0	0	2	0	1	0	1	0	0	2	2	0	8
稼働日	0	0	2	4	5	5	11	18	27	26	18	12	128

【表6：利用団体一覧】

団体名	タイトル	利用期間
石田満里佳	※撮影利用	2020年7月24日（金）～7月26日（日）
範宙遊泳	『バナナの花#4』※撮影利用	2020年8月24日（月）～8月27日（木）
福留×Aokid	『日本国憲法を上演する』	2020年7月29日（水）
妖精大図鑑	『molting house』	2020年9月14日（月）～9月15日（火）
オフィスマウンテン	『アながあくほド』（映像作品）	2020年9月17日（木）、9月24日（木）、 10月1日（木）、10月3日（土）、10月 10日（土）、10月15日（木）
フェスティバル/トーキョー 一実行委員会	モモンガ・コンプレックス『わたしたちは、そろっている。』※稽古利用	2020年9月24日（木）、9月29日（火）、 10月6日（火）
コココーラボ	『寄り道』	2020年10月29日（木）～10月31日（土）
MerryCreation 合同会社	『KISEKI』	2020年11月14日（土）
高山玲子	『制作における協働を考える会』※配信利用	2020年11月26日（木）
MMT パントマイム	※撮影利用	2020年12月10日（木）
劇団ペリどっと	『うるせえ!!こんな問題、解けるかあ!』	2021年1月9日（土）～1月11日（月・祝）
sofairlo 合同会社	『THE DAIDOGEI SHOW!!』	2021年2月21日（日）
egg life	『白く、壊れて、生まれる』	2021年2月26日（金）～2月27日（土）
演劇プロジェクトわたわた	『わたし曖昧な us』	2021年3月9日（火）～3月14日（日）
劇団グラハムヘルツ	※稽古利用	2021年03月28日（日）

2. 自主事業

自主公演事業は、昨年度実施予定だったコンテンポラリーダンスのショーケース企画『ラボ 20#22』の振替公演、オープンスタジオ企画『PLAY NEW MAP CITY』の実施、映像作品『とや』の製作を行い、提携事業では過年度よりSTスポットを利用いただいていた若手の劇団による演劇公演を2本上演しました。ほとんどがコロナ禍以前から計画されていたものであり当初想定していた企画から変更せざるを得ない部分も多くありましたが柔軟に対応し、社会通念や価値観が

大きく変動する中でそれぞれのアーティストは時世に向き合い、それぞれの表現の可能性を探りながら、作品発表を行いました。

感染症拡大の状況に臨機応変に対応しながら、舞台芸術の創造拠点としてさまざまなアーティストとの協働や利用者のサポートを継続して行い、表現の一傾向に偏らず、多様な思考と身体の在り方を実践していく場として、地域にひらかれた文化施設の役割を務めることができました。

1. 主催事業



『ラボ 20#22』(振替公演)

公演 2020年12月25日(金)～12月27日(日)

映像配信 2020年12月31日(木)～2021年1月21日(木)

キュレーター 福留麻里

出演 飯塚大周、田村興一郎、チーム・チープロ、宮脇有紀、涌田悠

※#22 ラボ・アワード受賞 涌田悠

全3回 動員48人、視聴者数263人

コンテンポラリーダンスにおける若手作家の発掘・育成を目的としたダンスショーケース企画。ダンサー・振付家の福留麻里をキュレーターに迎え、オーディションで選出した若手アーティスト5組の上演を行いました。各作家はリハーサル期間からキュレーターやスタッフとコミュニケーションをとりながら、試行錯誤を重ねて強度のある作品づくりを行いました。延期により図らずも時間を重ねたことで、より強く今現在の身体と課題に向き合った作品発表となりました。



『とや』

配信 2020年12月27日(日)～配信中

うごき 福留麻里 テキスト・映像編集 村社祐太郎

視聴者数 189名(2021年4月末時点)

これまで上演を前提とした舞台作品を主に創作してきた作家たちには新しい試みとなりましたが、これまでの舞台作品の創作で大切にしてきた部分である要素をテキスト、動きを中心にシンプルに余白を多く残すことで、鑑賞者の多感覚に働きかけることを映像作品でも実現することができました。



『Play New Map City』

公演 2021年3月6日(土)～3月7日(日)

出演 Aokid 黒田菜月 長沼航

動員 12名(各回5名限定)

Play New Map City は劇場空間を再発見する試みとして、ダンサー・アーティスト Aokid による観客参加型のパフォーマンス企画です。今回はゲストアーティストに写真家 黒田菜月、俳優 長沼航を迎え、それぞれのワークショップを交えながら観客と即興の小作品をつくる実験的な場となりました。

それぞれのワークを通じて、感染症拡大により今までの日常の様式や価値観が一変した今、“当たり前”とされてきたことを新たに捉え直し、再考する機会となりました。



2. 共催・提携・協力事業

(1) オフィスマウンテン 顔面演劇『アながあくほど』

協力 2020年10月23日(金)～12月31日(木) ※配信期間 視聴数 236人



(2) オフィスマウンテン『アながあくほど』フルボディバージョン

共催 2020年11月30日(月)～12月3日(木) 全2回 動員 22人 視聴数 30人



(3) シラカン『ぞう騒々』

提携 2021年1月15日(金)～1月24日(日) 全12回 動員 133人

(4) 屋根裏ハイツ 6F『パラダイス』

提携 2021年2月5日(金)～2月9日(火) 全8回 動員 122人

【表7：主催事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ (人)	スタッフ のべ (人)
福留麻里×村社祐太郎『とや』	2020年9月16日(水)、10月7日(水)、10月9日(金)、11月3日(祝・火)、11月4日(水)	0		189	5	5
ラボ 20#22	公演:2020年12月25日(金)～12月27日(日) 配信:2020年12月31日(木)～2021年1月21日(木)	2,500	3	動員:48 視聴:263	43	35
PLAY NEW MAP CITY	2021年1月28日(木)～1月31日(日)、3月4日(木)～3月7日(日)	0	2	12	18	0

【表8：共催事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ (人)	スタッフ のべ (人)
オフィスマウンテン 『アながあくほド』フルボディバージョン	2020年11月30日(月)～12月3 日(木)	3,000	2	動員:22 視聴:30	16	14

【表9：提携事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ (人)	スタッフ のべ (人)
シラカン『ぞう騒々』	2021年1月15日(金)～1月24 日(日)	2,800	12	133	30	82
屋根裏ハイツ 6F『パラダイス』	2021年2月5日(金)～2月9 日(火)	3,000	8	122	35	24

【表10：協力事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ (人)	スタッフ のべ (人)
オフィスマウンテン 顔面演劇『アながあくほド』(映 像作品)	2020年10月23日(金)～12月 31日(木)	500		236	6	0

教育普及・交流促進事業／地域連携事業部

1. 教育事業

横浜市文化観光局、横浜市教育委員会、横浜市芸術文化振興財団と協働して、文化施設・芸術団体と市内の小・中・義務教育・特別支援学校が連携して芸術文化の取組みを行うために「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」を設置し、事務局代表団体として事業の進行管理を行いました。

学校現場に対する直接的な取組みとしては、令和2年度文化庁「文化芸術による子供育成総合事業－コミュニケーション能力向上事業－」と横浜市の事業を連動して、小学校・特別支援学校4校にてコーディネートを行いました。



1. 学校と文化施設・芸術団体の連携による基盤整備

令和2年度横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局の運営の一環として、学校において子どもたちが創造的な体験をできるプログラムを、コーディネーター、アーティストおよび教師が協力して実施できるように具体的な調整を行い、適宜学校やアーティストからの相談を受けました。また、過去の実績の蓄積や、広報（記者発表、ニュースレター発行、独自ドメイン取得によるホームページ運営）を行いました。あわせて令和3年度実施に向けての要項・募集案内を作成し、横浜市内の市立小・中・義務教育・特別支援学校に広報を行いました。

このほか、教師および文化芸術関係者等のためのワークショップとして実施した内容は、次のとおりです。

（1）教師のためのワークショップ（美術）

日時：2020年12月23日、15：30～16：45

会場：横浜美術館・8階

小学校図画工作科・中学校美術科の教職員専門研修として実施。横浜市内の小・中・特別支援学校、高等学校の主に図画工作科、美術科の教員20人が参加。横浜美術館教育普及グループ教育プロジェクトのコーディネートにより、「横浜美術館コレクションを活用した授業のための中学校・美術館合同研究会」の取り組みと、その際に作成した授業案を紹介しました。

（2）教師のためのワークショップ（ダンス）

日時：2021年2月10日、15：30～16：45

開催方法：オンライン会議ツール zoom を用いて開催。

横浜市特別支援教育研究会・情操運動部会研修会として実施。24名が参加。STスポット横浜によるコーディネートで、実施した緑園西小・緑園東小での取組みをもとに、アーティストである長井江里奈（ダンサー・演出家・ワークショップファシリテーター）さん、担当教諭を交えたレクチャーを開催しました。途中、ミニワークショップも開催し、体感を通して、障害のある子どもたちとの関わりを考える機会となりました。

(3) 文化芸術関係者のためのワークショップ「コーディネーター会議」

a. 日時：2020年11月5日：10時15分～11時45分

会場：港南区民文化センターひまわりの郷・音楽ルーム、参加人数：10人

b. 日時：2020年11月6日：10時15分～11時45分

会場：関内ホール・リハーサル室3、参加人数：13人

c. 日時：2020年11月12日：10時15分～11時45分

会場：青葉区民文化センターフィリアホール・ロビー（ホワイエ）、参加人数：13人

学校でのプログラムを担当するコーディネーターが集まり、情報交換を行う「コーディネーター会議」を実施しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3回に分けて開催し、担当する学校とのプログラムを調整する際に起きる課題の整理や、過去に蓄積したプログラムのノウハウの情報交換を行い、ディスカッションを行いました。

2. 学校プログラムの実施

令和2年度文化庁「文化芸術による子供育成総合事業－コミュニケーション能力向上事業－」と横浜市の取組を連動させ、浅間台小学校、瀬ヶ崎小学校、緑園東小学校、上菅田特別支援学校の4校にてコーディネートを行いました。

【表11：学校プログラムの対象校数等】

校種	今年度	昨年度
小学校	113 校	122 校
中学校	7 校	13 校
義務教育学校	1 校	1 校
特別支援学校	5 校	9 校
合計（校数）	126 校	145 校
合計（人数）	10,714 人	14,306 人

【表12：学校プログラムのジャンル・型別実施校数】

ジャンル	体験型	鑑賞型	合計
音楽	19 校	21 校	40 校
美術	16 校	4 校	20 校
演劇	6 校	0 校	6 校
ダンス	11 校	1 校	12 校
伝統芸能	22 校	26 校	48 校
合計	74 校	52 校	126 校

【表13：コーディネーター一覧】

アートNPOなど、民間の芸術団体（26 団体）		地域の文化施設（10 団体）
青葉区民文化センター フィリアホール		Media Global
泉区民文化センター テアトルフォンテ		NPO法人子どもに音楽を
栄区民文化センター リリス		NPO法人横浜こどものひろば
神奈川区民文化センター かなっくホール		NPO法人芸術家と子どもたち
港南区民文化センター ひまわりの郷		ART LAB OVA
旭区民文化センター サンハート		民族歌舞団荒馬座
鶴見区民文化センター サルビアホール		アートの時間
戸塚区民文化センター さくらプラザ		NPO法人Offsite Dance Project
緑区民文化センター みどりアートパーク		認定NPO法人あっちこっち
磯子区民文化センター 杉田劇場		NPO法人横浜シテオペラ
大倉山記念館	急な坂スタジオ	
久良岐能舞台	象の鼻テラス	
長浜ホール	吉野町市民プラザ	
岩間市民プラザ	横浜市民ギャラリー	事務局構成団体（2 団体）
横浜市民ギャラリーあざみ野	横浜美術館	公益財団法人芸術文化振興財団 協働推進グループ
横浜にぎわい座	横浜赤レンガ倉庫 1 号館	認定NPO法人STスポット横浜
横浜みなとみらいホール	横浜能楽堂	
関内ホール	神奈川県立音楽堂	

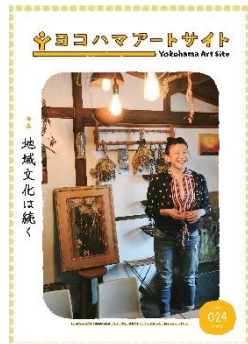
【表14：直接コーディネートを行った学校一覧】

学校名	学年	ジャンル	アーティスト	日程	回数	参加者数
浅間台小学校	5 年生	伝統芸能	山野安珠美（箏演奏家）	2020 年 12 月 17 日、12 月 18 日、12 月 22 日	3	50
瀬ヶ崎小学校	6 年生	演劇	中村大地（作家・演出家）	2020 年 10 月 23 日、10 月 25 日、10 月 30 日	3	45
緑園東小学校	個別支援学級	ダンス	長井江里奈（ダンサー・演出家・ワークショップファシリテーター）	2020 年 11 月 4、19、20、25 日、12 月 3 日	5	24
上菅田特別支援学校	高 1～3 年生	音楽	曾我大穂（音楽家、多楽器奏者）	2021 年 2 月 9 日、16 日、3 月 2 日	3	14

2. 地域事業

市民やNPO団体等が主体となって、市内の地域資源を活用し、地域住民と協力して継続的な事業を行っていく文化芸術活動の支援を行いました。市全域でのネットワークづくりやコミュニティの活性化を図るため、横浜市文化観光局、横浜市芸術文化振興財団と協働してヨコハマアートサイト事務局を構成し、事業を進行しました。

また、市域を離れた全国の事例を調査し検討するため研究会を運営し、アートの力を地域社会に活かしていく方途を模索しました。



横浜アート振興を促進する財団



1. 地域文化団体の助成金交付をはじめとしたサポート

ヨコハマアートサイト事務局として、助成金の交付対象事業を選考（申請 47 件中 28 件を採択）し、事業実施前・実施後におけるヒアリングを行うとともに、各団体の活動状況の視察を行いました。また、助成金交付を行い（助成総額：14,900,000 円）、参加団体の事業運営に関する相談に応じるなど、さまざまなかたちでサポートを行いました。

また、採択された事業などのネットワークづくりを支援するため、アートと地域のかかわりについて考える・交流する場「ヨコハマアートサイトラウンジ」をインタビュー形式で 4 回開催しました。また助成事業の報告会を企画しました。（新型コロナウイルスの影響により、報告会はオンライン開催）

これらに並行する形で、横浜の地域文化を考える・応援するための冊子「季刊ヨコハマアートサイト」を発刊し、横浜市内の多様な文化のかたちを伝えました。3 カ月に 1 回のペースで定期刊行を続け、地域文化のサポートを目指しました。

【表15：ヨコハマアートサイト2020 助成対象事業一覧】

団体名	事業名	実施区
アーティストネットワーク+コンパス	会社まるごとギャラリー2020	金沢区
NPO 法人あっちこっち	アート・フォー・コミュニティ～アートが人と地域コミュニティをつなぐためのステップ事業～	中区
磯子区障害者地域活動ホーム	あいさつシリーズ Vol.2 こんにちは ぼくの あたりまえ きみの あたりまえ	磯子区
居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会	カドベヤ・オープンDAYーつどおう・かたろう・つながろう	中区
WeTT 実行委員会	We Trees 鶴見 The Base	鶴見区
大岡川アートプロジェクト実行委員会	大岡川アートプロジェクト「光のぷろむなあと2020」	南区
音楽スペース おとむすび	おとむすび「トークショー」	泉区
黄金町 BASE	黄金町 BASE	中区
ことぶき「てがみ」プロジェクト実行委員会	ことぶき「てがみ」プロジェクト	中区
さかえ egao プロジェクト	さかえ egao フェスティバル	栄区
STAND Still	性暴力サバイバー ビジュアルボイス	青葉区
蒼昊美術會	広げよう！深めよ！！水彩でアートの輪!!!	中区、西区、南区、金沢区
NPO法人打楽器コンサートグループ・あしあと	こころに響く打楽器作っちゃお♪	戸塚区、中区、南区、西区
都筑アートプロジェクト	土地の記憶から生まれるアート～田んぼと街を巡って～	緑区
ティーンズクリエイション組織委員会	「ティーンズクリエイション2020」	栄区
東横フラワー緑道フェスタ実行委員会	東横フラワー緑道映像ワークショップ	神奈川区
TalkingKidsHi5	トーキングキッズハイファイブスクール！“しゃべろう、うたおう、おどろう、つくろう！”	中区
Picture This Japan	Picture This 2020：横浜インターナショナルユースフォトプロジェクト	中区、栄区、西区、南区
特定非営利活動法人美術保存修復センター横浜	未来に繋ごう、皆んなの！！横浜の！！歴史・文化・芸術！！～朽ちていく、再生、修復～	中区
病院と地域の協働によるおまつり実行委員会	病院と地域とアートでつくるおまつり	神奈川区
NPO法人ぶかぶか	演劇ワークショップ	緑区
本牧こどもディスコ実行委員会	本牧こどもディスコ season6	中区
「街のはなし」実行委員会	「街のはなし」	青葉区
横浜キネマ倶楽部	ロケ地で映画を鑑賞しよう！！聖地巡礼上映会『1999年の夏休み』in 大倉山記念館(港北区) & 『風のある道』in 神奈川県立音楽堂(西区)	港北区、西区
横浜下町パラダイスマつり実行委員会	横浜下町パラダイスマつり 2020+よこはま若葉町多文化映画祭 2020	中区、南区、西区
横浜シネマネットワーク実行委員会	全国ミニシアター地域交流上映会 横浜×尾道	中区
一般社団法人横浜若葉町計画	若葉町ウォーフ「まちなかギャラリー2020」	中区
LITTLE ARTISTS LEAGUE	LITTLE ARTISTS LEAGUE YOKOHAMA～アートを通してグローバル思考を育むプログラム～	中区

【表16：ヨコハマアートサイトラウンジ・事業報告会一覧】

回	企画名	テーマ	公開・開催日	主な主演者（敬称略）	収録会場	協働団体
26	場から考える演劇	コロナ下での劇場や場のあり方	2021 年 3 月 30 日	佐藤信さん（一般社団法人横浜若葉町計画 代表理事）	若葉町ウォーフ	TPAM
27	半径 2 キロから見える世界	アートと地域住民との関わり	2021 年 3 月 30 日	藤井本子さん（「街のはなし」実行委員会）	オンライン（zoom）	—
28	イギリスの歴史から見える社会的排除と現在の日本	社会的排除に抵抗する方法としてのアート	2021 年 3 月 30 日	横山千晶さん（居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会）	オンライン（zoom）	—
29	当事者性から始まるアート	リサーチと実験を繰り返すアート	2021 年 3 月 30 日	Art Lab Ova	オンライン（zoom）	—
報告会	ヨコハマアートサイト2020 報告会	ヨコハマアートサイト2020 参加事業の報告	2021 年 3 月 13 日	ヨコハマアートサイト2020 参加団体	オンライン（zoom）	—

【表17：季刊ヨコハマアートサイト一覧】

号	特集	発行月	主に取り上げた事業や場所
24	地域文化は続く	2020 年 9 月	特定非営利活動法人美術保存修復センター横浜（中区）、「街のはなし」実行委員会（青葉区）、横浜キネマ倶楽部（港北区）、アートサイトラウンジ vol.24（中区）、地域文化の風景（砂連尾理）、ヨコハマトリエナーレ 2020 AFTERGLOW—光の破片をつかまえる」（中区）、まちなかギャラリー2020 COVID19-記念劇場『壁画』（中区）、横浜インターナショナルユースフォトプロジェクト（南区）水彩で描く—ハガキでつながる横浜の海と空（西区）
25	小さな集いから	2020 年 12 月	ことぶき「てがみ」プロジェクト（中区）、Stand Still、都筑アートプロジェクト（緑区）、アートサイトラウンジ vol.25（中区）、地域文化の風景（古賀桃子）、ココロはずむアート展 PART10（緑区）、会社まるごとギャラリー2020（金沢区）、いそかつ製作所オープン！（磯子区）、おとむすびトークショーvol.1（泉区）
26	場を保ちながら	2021 年 3 月	ティーンズクリエイション組織委員会（栄区）、本牧こどもディスコ実行委員会（中区）、病院と地域の協働によるおまつり実行委員会（神奈川区）、アートサイトラウンジ vol.26（中区）、地域文化の風景（藤川悠）、Party を作ろう（中区）、よこはま若葉町多文化映画祭 2020（中区）、egao フェスティバル（栄区）

3. 福祉事業

令和2年度神奈川県と協働し、「障がい者芸術文化活動普及支援事業」として神奈川県障がい者芸術文化活動支援センターを運営しました。あわせて、文化庁委託事業令和2年度障害者による文化芸術活動推進事業(文化芸術による共生社会の推進を含む)として「横浜芸術文化・障害福祉プラットフォーム形成事業」を実施しました。

1. 神奈川県障がい者芸術文化活動支援センターの運営

1-1. 相談支援事業

障害者やその家族、障害福祉サービス事業者等から芸術文化活動に関する相談を、メール、電話、面会などで42件受け付けました。またウェブサイトやリーフレットを作成し、支援センターおよび相談窓口の周知を行いました。発表の場を求める声や福祉施設での具体的な取り組みについての相談が寄せられ、芸術文化への興味関心の高さを感じました。

1-2. 芸術文化活動を支援する人材育成事業

(1) 障がい者の文化芸術を支援するコーディネーターの養成

「つなぐ、つくる、支えるために」をテーマに、主に芸術文化関係者を対象とした勉強会を3回開催、年度末には聞き逃し配信を行い、のべ291人が参加しました。コロナ下であることから音声のみの配信としましたが、ふだんは業務や家庭の都合で参加できない人たちにも参加の機会を広げることができました。一方、交流の機会をつくることは難しかったため、今後の課題として残りました。

(2) ワークショップ実施事業

神奈川県内の障害福祉サービス事業所等に対して、4か所に対してのべ12回アーティストを派遣し、施設の希望に応じてダンスや音楽、美術の文化芸術体験を実施しました。コロナ下で、外出自粛やイベントの中止などが続く障害者施設にとって、アーティストが入ることは、外部との接点、表現の場の確保ということにおいて、大きな意味を持ちました。また一部施設においては、支援者を対象としたワークショップを行い、オンラインであってもより深い体験につながるよう工夫をしました。

1-3. 関係者のネットワークづくり

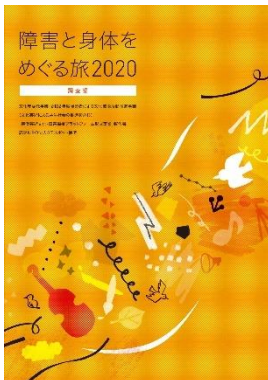
障害者の芸術文化活動に造詣の深い専門家による協力委員会を設置し、4回開催しました。

1-4. 事業の成果の発表

(1) 写真展の開催

障害者とともに行う芸術文化活動へのイメージを膨らませてもらうこと、および支援センターの周知を目的に、写真展を開催しました。当初3か所での巡回展を予定していましたが、緊急事態宣言を受け、2か所のみでの開催となりました。その中でも、福祉施設の利用者のみなさんと来てくださったり、相談を持ち掛ける方がいたり、出かけていくことの重要性を感じました。

(2) 成果報告会「地域とともに考える障がい福祉と芸術文化」



今年度の支援センターの活動報告をオンラインによる音声配信で行いました。基調講演として、長年相談支援に関わってきた瀧澤久美子氏を招き、地域とともにある障害者支援、文化芸術のあり方について、考えを深めました。

1-5. 情報収集・発信、成果報告とりまとめ

ウェブサイトを作成し、センター主催の催し等の発信を行い、周知につとめました。また報告書を3,500部作成し、県内の障害福祉サービス事業所等に配布、ウェブサイトにも掲出しました。

2. 横浜芸術文化・障害福祉プラットフォーム形成事業

横浜市内の区民文化センターを中心とした文化施設のネットワーク形成を目的に調査研究を行いました。全国で障害福祉と舞台芸術の分野で先進的な取り組みを行っている、団体にヒアリングを行い、その結果を区民文化センターの事業担当者と共有しました。一步を踏み出すための共有の場づくりの重要性を認識しました。

【表18：相談事業】

■相談方法※重複あり

	面会	電話	メール	オンライン	合計
相談件数	3件	29件	14件	1件	47件

■居住地別

	横浜	川崎	相模原	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	県西	県外	合計
相談件数	16件	2件	7件	1件	2件	5件	3件	0件	6件	42件

■相談内容

	発表の機会について	交流の機会について	鑑賞の機会について	創作・体験について	著作権について	販売について	その他	合計
相談件数	13件	3件	3件	6件	0件	2件	15件	42件

【表19：ワークショップ実施事業一覧】

	施設名	施種別	障害種別	ジャンル	アーティスト	日程	回数	人数
1	スプラウト ★オンライン	障害福祉サービス事業所	身体、知的	ダンス	白神ももこ(演出家、振付家、ダンサー)	2020年10月2日、11月11日、12月4日	3	22
2	のびやか ★一部オンライン	生活介護支援事業所	知的	音楽	西井夕紀子(作曲家)	2020年9月25日、2021年3月5日、3月30日	3	36
3	リエゾン笠間 ★オンライン	障害者支援施設	身体、知的	ダンス	入手杏奈(ダンサー、振付家)	2020年12月3日、9日、14日	3	31
4	みどり福祉ホーム	障害者地域活動ホーム	身体、知的	美術	ドゥイ(造形ユニット)、WHITELIGHT(サウンドスケープデザイン)	2020年10月26日、30日、11月2日	3	58

【表20：勉強会、報告会】

企画名	配信期間	主な出演者（敬称略）	テーマ	人数	収録会場
1 地域の中で芸術文化に触れるために	2020年11月6～9日	又村あおい(全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事兼事務局長)	地域生活を支える制度の動向から、芸術文化との接点を探る	72	STスポット
2 コロナ禍におけるワークショップを考える	2021年1月22日～25日	入手杏奈(ダンサー・振付家)、白神ももこ(演出家・振付家・ダンサー)	オンラインツールを活用したダンスワークショップについて	65	オンライン (zoom)
3 障がいのある子どもたちの学びを上げるために	2021年2月5日～8日	佐塚文彦(公益財団法人 日本教育公務員弘済会 神奈川支部)	障害のある子どもたちの学びと成長の機会を広げてきた実践について	51	障害者スポーツ文化センターラポール上大岡
4 地域とともに考える障がい福祉と芸術文化	2021年3月12日～19日	瀧澤久美子(横浜市障害者後見の支援推進法人(横浜市障害者支援センター) アドバイザー)	相談支援の役割とともに当事者の声からの制度設計を考える	115	障害者スポーツ文化センターラポール上大岡
5 聞き逃し配信	2021年3月23日～31日	勉強会全3回の聞き逃し配信	—	103	—

【表21：写真展「はじめの一步」】

地域	施設名	地域	日付	来場者数
1 相模原市	相模原市民ギャラリー第1展示室	相模原市	2021年1月15日～17日※1月15日相談会	54
2 横浜市	障害者スポーツ文化センター ラポール上大岡展示コーナー	横浜市	2021年1月27日(水)～29日(金)※1月27日相談会、緊急事態宣言を受け、期間短縮	28
3 平塚市	GALLERY COOCA&CAFE	平塚市	緊急事態宣言を受け、開催中止	—

【表22：横浜芸術文化・障害福祉プラットフォーム形成事業・ヒアリング一覧】

団体名	ヒアリング日	方法
1 社会福祉法人ゆうゆう	2021年2月18日	オンラインツール (zoom)
2 岐阜県障がい者芸術文化支援センター	2021年2月18日	オンラインツール (zoom)
3 特定非営利活動法人ダンスボックス	2021年2月25日	オンラインツール (zoom)
4 特定非営利活動法人まる	2021年2月17日	オンラインツール (zoom)
5 おおいた障がい者芸術文化支援センター	2021年3月9日	オンラインツール (zoom)
6 アートステーションどんこや	2021年3月3日	オンラインツール (zoom)

4. その他

・第2次小金井市芸術文化振興計画策定支援

2021年4月から2031年3月までを計画期間とした、第2次小金井市芸術文化振興計画策定の事務局補佐を行いました。策定委員会や市民参加企画の運営、計画草稿の作成などを行いました。協働、教育、包摂の観点から小金井市内の文化資源を捉えなおし、これからの活動の指針となるよう努めました。

事務局

法人事務局として、部門の統括を行うとともに、広報宣伝などを行いました。

認定NPO法人化を機に開始した寄附獲得にむけての広報宣伝等を行うとともに、レクチャー・シンポジウムなどへの出演を積極的に行い、団体および事業の広報を行いました。

【表23：レクチャー、シンポジウム等への出演】

企画名	会場	主催等団体	日付	担当など
神奈川大学キャリアモデル研究	オンライン	神奈川大学	2020年11月27日、12月9日	田中真実が登壇
まちと文化とアートの学校 2020 vol.3 ／「市民活動と文化 ～文化的コモンズを考える」	インターネットラジオ配信	松山ブンカ・ラボ	2020年9月30日	小川智紀が登壇
「社会包摂の未来をみんなで考える研究会～文化芸術での取り組みはひろがるか～」	ぽんプラザホール	福岡舞台芸術施設運営協働事業体／舞台芸術活動による社会参加推進実行委員会	2020年12月20日	田中真実が登壇
ひらけSOUP①「文化の中間支援が、福祉の中間支援と出あうとき」	オンライン	特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン	2021年2月8日	田中真実が登壇
シンポジウム『地域に今なぜアートが必要か』【第1部】地域とともに歩むコーディネーター	オンライン	地域創造	2021年2月24日	小川智紀が登壇
栄区地域活動交流コーディネーター連絡会令和2年度研修会	ピアハッピー栄	横浜市長区社会福祉協議会	2021年3月10日	田中真実が登壇

【表24：事業の実施に関する事項：特定非営利活動に係る事業】

	STスポットを中心とした芸術文化施設の運営管理	舞台芸術を中心としたアートプロジェクトの創造発信	舞台芸術を中心としたアウトリーチや教育普及、交流促進
内容	市民に開かれた劇場として、STスポットの運営管理を行う。	アーティストと協働し、舞台芸術を中心とした創作および発信を行う。	教育、地域、福祉等の分野との協働を通して、中間支援活動を行う。
日時	通年	通年	通年
場所	横浜市	横浜市・神奈川県	横浜市・神奈川県
従事者人員	4名	4名	7名
受益対象者	主に芸術文化関係者 2,279人	主に芸術文化関係者 684人	子ども、障害者を含む一般 34,017人
支出合計額	7,743,958円	3,472,980円	77,291,191円

活動計算書

特定非営利活動法人ＳＴスポット横浜

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科目		金額（単位：円）	
Ⅰ 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	130,000		
フレンドシップ会員受取会費	0		
入会金	0	130,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	170,000	170,000	
3. 受取助成金等			
受取助成金	927,000		
受取補助金・負担金	70,679,000	71,606,000	
4. 事業収益			
事業収入	4,261,527		
利用協力費	1,490,200		
受託費	16,170,700	21,922,427	
5. その他収益			
雑収入	469		
その他の収入	4,200		
繰入金収入	2,103,033	2,107,702	
経常収益計			95,936,129
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給与手当	23,209,601		
通勤費	1,143,797		
臨時雇賃金	2,016,000		
福利厚生費	3,782,142		
人件費計	30,151,540		
(2) その他経費			
諸謝金	6,820,900		
委託費	14,936,006		
助成費	14,900,000		
制作費	6,571		
消耗品費	2,263,020		
印刷費	1,472,994		
広報宣伝費	8,331,402		
旅費交通費	573,773		
支払手数料	106,280		
地代家賃	1,578,059		
会場借上費	659,816		
通信費	2,911,368		
会議費	545,058		
設備費	1,781,214		
リース料	312,336		
租税公課	1,157,792		
その他経費計	58,356,589		
事業費計		88,508,129	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	176,726		
通勤費	7,820		
福利厚生費	0		
退職給与繰出金	1,200,000		
人件費計	1,384,546		
(2) その他経費			
諸謝金	599,398		
租税公課	0		
設備緊急対策金	200,000		
繰入金支出	2,103,033		
その他経費計	2,902,431		
管理費計		4,286,977	
経常費用計			92,795,106
当期経常増減額			3,141,023
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			3,141,023
法人税、住民税及び事業税			74,500
当期正味財産増減額			3,066,523
前期繰越正味財産額			20,121,624
次期繰越正味財産額			23,188,147

財務諸表の注記

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

令和3年3月31日現在

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。
(1)消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。
(2)引当金の計上基準
 - ・退職給与引当金 将来の退職金支給のため、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
 - ・設備緊急引当金 設備の緊急補修などに備え、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
- (3)準備金の計上基準
 - ・企画連携事業準備金 今後の事業開発に向けて、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
2. 事業費の内訳
事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	創造環境事業部	地域連携事業部	事業費計
(1) 人 件 費			
給 与 手 当	4,893,567	18,316,034	23,209,601
通 勤 費	177,687	966,110	1,143,797
臨 時 雇 賃 金	265,000	1,751,000	2,016,000
法 定 福 利 費	858,884	2,923,258	3,782,142
人 件 費 計	6,195,138	23,956,402	30,151,540
(2) そ の 他 経 費			
諸 謝 金	2,032,500	4,788,400	6,820,900
委 託 費	255,200	14,680,806	14,936,006
助 成 費	0	14,900,000	14,900,000
制 作 費	6,571	0	6,571
消 耗 品 費	312,774	1,950,246	2,263,020
印 刷 費	161,516	1,311,478	1,472,994
広 報 宣 伝 費	11,752	8,319,650	8,331,402
旅 費 交 通 費	163,014	410,759	573,773
支 払 手 数 料	16,980	89,300	106,280
地 代 家 賃	0	1,578,059	1,578,059
会 場 借 上 費	384,736	275,080	659,816
通 信 費	217,721	2,693,647	2,911,368
会 議 費	45,061	499,997	545,058
設 備 費	759,950	1,021,264	1,781,214
租 税 公 課	312,336	0	312,336
そ の 他 経 費 計	341,689	816,103	1,157,792
合 計	5,021,800	53,334,789	58,356,589
	11,216,938	77,291,191	88,508,129

3. 使途等が制約された寄付等の内訳
使途が制約された補助金等の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

名称	拠出元	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
STスポット運営補助金	横浜市	0	6,100,000	6,100,000	0
STスポットにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応に伴う費用負担金	横浜市	0	865,000	865,000	0
芸術文化振興基金 地域文化施設公演・展示活動助成	日本芸術文化振興会	0	361,000	361,000	0
文化芸術活動再開加速化事業補助金	神奈川県	0	1,113,000	1,113,000	0
横浜市映像配信支援プログラム支援金	横浜市	0	1,400,000	1,400,000	0
芸術文化教育プログラム推進事業補助金	横浜市	0	32,440,000	32,440,000	0
地域文化サポート事業プラットフォーム補助金	横浜市	0	28,400,000	28,400,000	0
合計		0	70,679,000	70,679,000	0

貸借対照表

特定非営利活動法人ＳＴスポット横浜

令和3年3月31日現在

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金			
現金	254,347		
預金	40,181,831		
現金・預金 計	40,436,178		
その他流動資産			
未収入金	2,339,000		
仮払金1	80,000		
仮払金2	58,609		
前払費用	0		
その他流動資産 計	2,477,609		
流動資産合計		42,913,787	
2. 固定資産			
投資その他の資産			
敷金	1,260,000		
投資その他の資産 計	1,260,000		
固定資産合計		1,260,000	
資産合計			44,173,787
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	155,724		
前受金	0		
仮受金1	2,635,300		
仮受金2	58,609		
未払費用	1,513,080		
流動負債合計		4,362,713	
2. 固定負債			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	9,867,449		
設備緊急引当金	5,255,478		
固定負債合計		16,622,927	
負債合計			20,985,640
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		20,121,624	
当期正味財産増減額		3,066,523	
正味財産合計			23,188,147
負債及び正味財産合計			44,173,787

財産目録

特定非営利活動法人ＳＴスポット横浜

令和3年3月31日現在

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	254,347		
住信SBIネット銀行 法人第一支店 普通	22,536,728		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	1,022,176		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	9,867,449		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	6,755,478		
未収入金			
横浜市	865,000		
神奈川県	1,113,000		
日本芸術文化振興会	361,000		
仮払金			
つり銭	80,000		
収益事業会計への仮払支出額	58,609		
流動資産合計		42,913,787	
2. 固定資産			
投資その他の資産			
敷金			
住友信託銀行(株)	1,260,000		
固定資産合計		1,260,000	
資産合計			44,173,787
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税等	155,724		
仮受金			
横浜市	1,600,000		
文化庁	1,035,300		
非収益事業会計からの仮受受入額	58,609		
未払費用			
未払消費税	704,400		
社会保険料等	808,680		
流動負債合計		4,362,713	
2. 固定負債			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	9,867,449		
設備緊急引当金	5,255,478		
固定負債合計		16,622,927	
負債合計			20,985,640
正味財産			23,188,147